

令和4年度 保護者評価(後期)

A:よくあてはまる B:だいたいあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない E:判断できない

 前期より5以上ポイント増

 前期より3~4ポイント増

 前期と同程度

 前期より3~4ポイント減

 前期より5ポイント以上減

	質問項目	A	B	C	D	E	肯定的評価	前期からの推移
1	お子さんは、学校で勉強したり遊んだりすることが好きであると言っている。	43%	46%	7%	1%	2%	89%	
2	お子さんは、授業が分かりやすいと言っている。	28%	55%	9%	2%	7%	83%	
3	お子さんは、自分の思いや考えを話している。	38%	47%	10%	1%	4%	85%	
4	お子さんは、家で目標時間(低学年30分・中学年40分・高学年60分)程度勉強している。	25%	39%	26%	9%	1%	64%	
5	お子さんは、話をしっかり聞く力が身についている。	20%	54%	24%	2%	0%	75%	
6	お子さんは、忘れ物をしないで学校に通っている。	27%	50%	20%	2%	1%	77%	
7	お子さんは、家で進んであいさつをしている。	41%	45%	12%	2%	0%	86%	
8	お子さんは、家族のために役立つことを進んでしている。	35%	50%	13%	2%	0%	85%	
9	お子さんに、早寝・早起き・朝ご飯の習慣や歯みがきが身に付くよう働きかけている。または身に付いている。	46%	39%	13%	2%	0%	85%	
10	先生は、子どものよいところを見つけて、ほめてくれる。	46%	43%	6%	2%	3%	89%	
11	学校は、学校だよりや学年だより・メール配信等で、経営方針や学校の様子などをよく伝えている。	46%	46%	6%	0%	2%	92%	
12	学校は、保護者の相談等に丁寧に対応している。	42%	48%	6%	0%	4%	90%	
13	学校は、いじめの未然防止や早期の発見と対応を行っている。	29%	44%	5%	2%	20%	73%	
14	学校は、安全教育(防犯・防災・避難訓練・交通安全教室等)を適切に行っている。	57%	36%	3%	0%	4%	93%	

【成果】

・⑫「学校は、保護者の相談等に丁寧に対応している」の肯定的評価は90%で、新型コロナの感染状況を鑑みながら、面談、電話での連絡相談、連絡帳を通じての連絡など、場合に応じて工夫しながら行ってきたことが成果に繋がったと考えられる。
 ・⑩「先生は、子どものよいところを見つけて、ほめてくれる」の肯定的評価は89%で、授業や行事等において、児童の活躍の場面を増やし、個別に褒める機会が増えたこと、学校・学級通信やTeamsを活用して保護者にも伝わるようにしたこと等が有効であったと思われる。
 ・⑬「学校は、いじめの未然防止や早期の発見と対応を行っている。」の肯定的評価が前期より6ポイント上昇した。未然防止についての取組が伝わるよう、生徒指導だよりを3回発行したり、日常の観察を丁寧に行い、保護者に対しての事実確認や今度の対応について組織的に取り組んだことが成果に繋がったと考えられる。

【課題】

・⑥「お子さんは、忘れ物をしないで学校に通っている」の肯定的評価は77%であり、C評価が増えている。
 ・②「お子さんは、授業が分かりやすいと言っている」の肯定的評価は83%であり、E評価(判断できない)が増えている。
 ・③「お子さんに、早寝・早起き・朝ご飯の習慣や歯磨きが身に付くようはたらきかけている。または身に付いている」の肯定的評価は85%であり、前期より7ポイント低下している。

【今後に向けて】

・分かりやすい授業については、見通しをもって学習に臨むことができるよう、単元計画表や、最後につく力を児童と共有できるようにする。また、1時間の授業のふりかえりの視点を吟味し、授業でわかったこと等を家庭でも伝えることができるようにする。
 ・「早寝早起き朝ごはん歯磨きの指導」については、「朝ごはん」「歯磨き」など一つ一つを焦点化して指導したり、保健だよりを用いて、丁寧に学級で指導したりすることで、さらに児童の意識が高まるようにする。